2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月2日

上場会社名　日本製罐株式会社　　上場取引所　東
コード番号　5905　URL https://www.nihonseikan.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 西尾　文隆
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長　(氏名) 田中　修二　TEL 048-665-1257

半期報告書提出予定日　2026年11月11日
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	5,802	0.2	△64	―	△60	―	△55	―
2026年3月期中間期	5,791	△3.0	△115	―	△96	―	△20	―

(注)包括利益　2027年3月期中間期　322百万円　(―%)　2026年3月期中間期　△80百万円　(―%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	△41.00	―
2026年3月期中間期	△15.32	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	13,004	5,148	31.8
2026年3月期	12,975	4,856	29.9

(参考)自己資本　2027年3月期中間期　4,141百万円　2026年3月期　3,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	0.00	―	20.00	20.00
2027年3月期	―	0.00			
2027年3月期(予想)			―	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,525	0.7	△104	―	△135	―	△69	―	△51.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記（3）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	1,392,000 株	2026年3月期	1,392,000 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	36,945 株	2026年3月期	38,645 株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	1,354,084 株	2026年3月期中間期	1,344,384 株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
（４）継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境改善や各種政策の効果もあり、緩やかな景気回復の動きがみられるものの、中東情勢や自然災害の影響、金融資本市場の変動の影響などから先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主力品種である18Ｌ缶は、油糧・化学分野が好調に推移し、当中間連結会計期間の売上高は前年対比で1.7%増加しております。また、美術缶につきましては、新規生産設備の稼働を開始したものの、出荷数量の減少により、当中間連結会計期間の売上高は前年対比で6.4%減少しております。

このような中、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は、5,802百万円（前年同期比0.2%増）、営業損失は64百万円（前年同中間期は営業損失115百万円）、経常損失は60百万円（前年同中間期は経常損失96百万円）、親会社株主に帰属する中間純損失は55百万円（前年同中間期は親会社株主に帰属する中間純損失20百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①金属缶製造販売事業

製品別売上高　（単位：百万円、%）

	前年同期		当中間連結会計期間		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
18Ｌ缶	4,440	77.8	4,515	78.9	75	1.7
美術缶	1,050	18.4	983	17.2	△66	△6.4
その他	218	3.8	221	3.9	2	1.4
計	5,709	100.0	5,721	100.0	11	0.2

金属缶製造販売事業の売上高は5,721百万円（前年同期比0.2%増）、営業損失は107百万円（前年同中間期は営業損失160百万円）となりました。

②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業の売上高は81百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は42百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は6,429百万円となり、前連結会計年度末に比べ409百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が234百万円、電子記録債権が193百万円減少したことによるものであります。固定資産は6,574百万円となり、前連結会計年度末に比べ437百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が481百万円増加し、無形固定資産が26百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は13,004百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は5,055百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円減少いたしました。これは主に電子記録債務が71百万円、支払手形及び買掛金が65百万円、設備関係電子記録債務が29百万円増加し、短期借入金が120百万円、１年以内返済予定の長期借入金が104百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,799百万円となり、前連結会計年度末に比べ217百万円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が132百万円増加し、長期借入金が281百万円、リース債務が65百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は7,855百万円となり、前連結会計年度末に比べ263百万円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は5,148百万円となり、前連結会計年度末に比べ292百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が345百万円増加し、利益剰余金が配当金の支払いと親会社株主に帰属する中間純損失により82百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は31.8%（前連結会計年度末は29.9%）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年４月30日の「2026年３月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、継続的な営業損失の計上により、当中間連結会計期間末において継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しています。

しかしながら、当社グループの資金面においては、当中間連結会計期間末の手元資金の確保状況、今後の保有有価証券の売却見込み、金融機関からの資金調達計画等を踏まえ、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

当社単体の状況としましては、美術缶の受注数量が想定より低い水準で推移しておりますが、新製品の取引開始に漕ぎ着けたこと、お客様のご理解のもと価格改善を推進していること、生産効率の改善により原価の逓減が進んでいること等により、構造改革が着実に進展できているものと考えております。

また、当社が所有する賃貸用不動産につきましては、引き続き新規の契約を獲得すべく動いております。そして当社保有の有価証券につきましても段階的に縮小を行っており、今期においても計画通りに売却を行っていることから、現時点において当社の資金繰りに重要な影響を及ぼす事象はございません。

なお、関西地区を拠点とする当社子会社については売上・利益ともに順調に推移しています。

引き続き、当社グループが認識しております課題への対策を推進するとともに、お客様のご理解を賜りながら、鋼材価格の上昇等に伴う製品価格の改善も進めてまいります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,784,682	1,766,530
受取手形及び売掛金	1,606,595	1,372,096
電子記録債権	1,953,530	1,759,817
商品及び製品	150,869	158,844
仕掛品	160,033	156,063
原材料及び貯蔵品	1,026,494	1,163,997
その他	159,901	54,162
貸倒引当金	△2,910	△1,716
流動資産合計	6,839,198	6,429,798
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,712,687	7,715,814
減価償却累計額	△5,905,964	△5,978,038
減損損失累計額	△377	△377
建物及び構築物（純額）	1,806,346	1,737,398
機械及び装置	8,312,347	8,330,685
減価償却累計額	△7,123,762	△7,162,145
減損損失累計額	△560,730	△563,524
機械及び装置（純額）	627,854	605,016
車両運搬具	21,128	21,128
減価償却累計額	△17,781	△18,258
減損損失累計額	△1,916	△1,916
車両運搬具（純額）	1,430	952
工具、器具及び備品	698,223	704,900
減価償却累計額	△636,570	△644,630
減損損失累計額	△25,663	△24,974
工具、器具及び備品（純額）	35,988	35,296
土地	972,170	972,170
リース資産	622,632	622,632
減価償却累計額	△8,431	△25,533
リース資産（純額）	614,201	597,099
建設仮勘定	14,482	106,561
有形固定資産合計	4,072,473	4,054,494
無形固定資産		
ソフトウエア	108,056	81,984
リース資産	121	106
その他	2,022	2,015
無形固定資産合計	110,201	84,106
投資その他の資産		
投資有価証券	1,909,545	2,423,708
繰延税金資産	26,790	―
その他	17,665	12,210
投資その他の資産合計	1,954,002	2,435,919
固定資産合計	6,136,676	6,574,520
資産合計	12,975,874	13,004,319

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,254,384	2,320,051
電子記録債務	1,314,652	1,386,181
短期借入金	120,000	－
１年内返済予定の長期借入金	896,634	792,581
リース債務	125,330	128,796
未払法人税等	15,310	29,185
未払事業所税	20,906	10,453
賞与引当金	82,028	81,637
設備関係電子記録債務	7,010	36,470
その他	265,999	270,517
流動負債合計	5,102,258	5,055,875
固定負債		
長期借入金	1,434,334	1,153,233
リース債務	547,239	481,960
繰延税金負債	631,031	763,738
退職給付に係る負債	300,194	297,756
資産除去債務	18,170	18,170
その他	86,208	85,115
固定負債合計	3,017,179	2,799,976
負債合計	8,119,437	7,855,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	738,599	738,599
資本剰余金	245,373	245,373
利益剰余金	1,863,662	1,780,668
自己株式	△56,381	△53,903
株主資本合計	2,791,253	2,710,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,085,494	1,430,560
その他の包括利益累計額合計	1,085,494	1,430,560
新株予約権	18,812	20,940
非支配株主持分	960,876	986,229
純資産合計	4,856,436	5,148,467
負債純資産合計	12,975,874	13,004,319

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	5,791,878	5,802,298
売上原価	5,221,530	5,187,538
売上総利益	570,348	614,759
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	140,985	141,255
役員報酬	44,764	40,289
株式報酬費用	2,816	4,195
賞与引当金繰入額	15,833	22,713
退職給付費用	5,151	6,653
運賃及び荷造費	283,780	278,420
支払手数料	58,082	60,317
減価償却費	35,630	35,731
その他	99,291	90,093
販売費及び一般管理費合計	686,337	679,670
営業損失（△）	△115,989	△64,910
営業外収益		
受取配当金	20,923	27,872
業務受託手数料	5,188	－
雑収入	6,787	8,604
その他	474	855
営業外収益合計	33,373	37,332
営業外費用		
支払利息	12,051	32,363
その他	1,797	502
営業外費用合計	13,849	32,865
経常損失（△）	△96,465	△60,443
特別利益		
投資有価証券売却益	137,106	59,762
特別利益合計	137,106	59,762
特別損失		
固定資産除却損	0	3,211
工場閉鎖損失	43,230	567
特別損失合計	43,230	3,778
税金等調整前中間純損失（△）	△2,588	△4,458
法人税等	3,891	25,626
中間純損失（△）	△6,480	△30,084
非支配株主に帰属する中間純利益	14,120	25,433
親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△20,600	△55,517

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純損失（△）	△6,480	△30,084
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73,852	352,382
その他の包括利益合計	△73,852	352,382
中間包括利益	△80,333	322,297
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△96,762	289,548
非支配株主に係る中間包括利益	16,429	32,749

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	中間連結損益計算書計上額
	金属缶製造販売事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
18Ｌ缶	4,440,055	－	4,440,055	－	4,440,055
美術缶	1,050,408	－	1,050,408	－	1,050,408
その他	218,790	－	218,790	－	218,790
顧客との契約から生じる収益	5,709,254	－	5,709,254	－	5,709,254
その他の収益	－	82,623	82,623	－	82,623
外部顧客への売上高	5,709,254	82,623	5,791,878	－	5,791,878
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	5,709,254	82,623	5,791,878	－	5,791,878
セグメント利益又は損失（△）	△160,059	44,069	△115,989	－	△115,989

（注）セグメント利益又は損失（△）の合計額は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。
また、「その他の収益」は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入です。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	中間連結損益計算書計上額
	金属缶製造販売事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
18Ｌ缶	4,515,522	－	4,515,522	－	4,515,522
美術缶	983,706	－	983,706	－	983,706
その他	221,772	－	221,772	－	221,772
顧客との契約から生じる収益	5,721,001	－	5,721,001	－	5,721,001
その他の収益	－	81,296	81,296	－	81,296
外部顧客への売上高	5,721,001	81,296	5,802,298	－	5,802,298
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	5,721,001	81,296	5,802,298	－	5,802,298
セグメント利益又は損失（△）	△107,686	42,775	△64,910	－	△64,910

（注）セグメント利益又は損失（△）の合計額は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。
また、「その他の収益」は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入です。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。